

拡大読書・読み取りシステム

# MyRead7

Zoom & Reader

マニュアル

new  
AOK  
system



# MyRead7

## 目次

セットアップ	3
MyRead7 の画面	5
起動と終了	7
基本的な使い方	9
スキャナー読み取り	9
PDF 文書読み取り	11
ファイル、デジタルカメラからの読み取り	13
取り込み画像を読み上げるには	15
認識結果を編集する	16
認識文書を追加して読み取るには	16
拡大読書機としての使い方	17
拡大読書	17
拡大読書中の操作	17
マウスが接続されていない場合	18
画像を回転させないと正しい向きで見ることができない場合	18
画像の背景色と文字色を逆にすると見やすい場合	18
拡大読書中の操作に困ったら	18
拡大読書の終了	19
読み取り画像を拡大読書する	19
スキャン	20

その他の設定・操作	22
スキャナーの設定	22
認識オプション	24
読み上げオプション	26
表示オプション	27
メニューとダイアログの拡大	29
環境のクリーンアップ	30
テンキー操作を有効にする	30
標準の PDF ビューアに設定する	31
画像の編集	32
手動による認識領域設定	32
画像の加工	34
画像の保存	36
画像の印刷	38
PDF ファイルに保存	40
PDF 形式の添付でメールを送る	41
コマンド一覧表	42

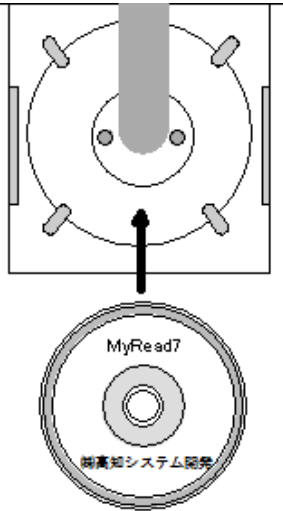


# セットアップ

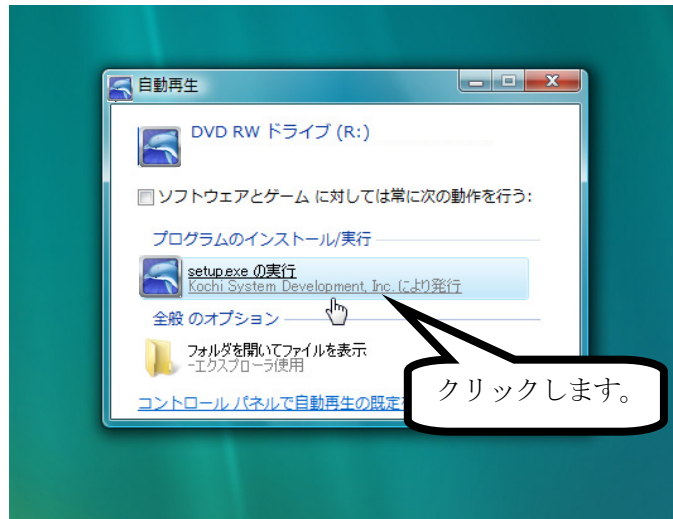
MyRead7 のセットアップ方法を説明します。

## セットアップ手順

- ① パソコンの電源を入れ、Windows を起動します。
- ② MyRead7 の CD-ROM をドライブに挿入します。



- ③ 「自動再生」のダイアログが表示されます。



「Setup.exe の実行」にマウスカーソルを合わせ、左クリックします。

- ④ 画面が暗くなり警告音が鳴り、「ユーザーアカウント制御」のダイアログが表示されます。



「はい (Y)」にマウスカーソルを合わせ、左クリックします。

または、**Alt** + **Y**

- ⑤ 使用許諾所に同意して、「はい」で **↵** を押します。
- ⑥ セットアップ完了のメッセージを確認して **↵** を押します。
- ⑦ セットアップ完了後環境によりパソコンの電源を入れ直す必要があります。  
メッセージを確認し、「はい」で、**↵** を押しパソコンを再起動します。  
セットアップ終了後またはパソコン再起動後 MyRead7 がご使用頂けます。

## アンインストール手順

AOKメニューの中から **↑** **↓** で「アクセサリ」を、選択し、**↵** を押します。

**↑** **↓** で「アンインストール」を、選択し、**↵** を押します。

**↑** **↓** で「MyRead7 の削除」を、選択し、**↵** を押し、アンインストールを行います。





# MyRead7 の画面

MyRead7 の画面構成を、説明します。



## スキャナー

### 読み取り

スキャナーから画像を読み取り、文字認識を実行します。※ 詳しくは、**P. 9** を、参照ください。

### 連続読み取り

複数枚の原稿を連続で読み取りを実行します。※ 詳しくは、**P. 10** を、参照ください。

### 拡大読書

拡大読書の目的は、スキャナーから読み込んだ原稿を、直ちに拡大画像で見ることです。  
簡単なマウス操作で画像のスクロールや 拡大率の変更ができます。

### 用紙判定

用紙の文字が書かれている面を知りたいときや、用紙の色を知りたいときに使用します。  
Fax送信前や、読み取りを行う前に用紙判定を実行して、読み取り面を簡単に確認できます。

## PDF 文書

### 読み取り

PDF ファイルの読み取りを行います。※ 詳しくは、**P. 11** を、参照ください。

### 拡大読書

拡大読書の目的は、読み込んだ **PDF** ファイルを、直ちに拡大画像で見ることです。  
簡単なマウス操作で画像のスクロールや 拡大率の変更ができます。

## ファイル（デジタルカメラ）

スキャナーを使用せず、デジタルカメラで撮影した写真や、パソコンにあらかじめ保存しておいた画像から読み取りをおこなうことも出来ます。

### 読み取り

ファイル、カメラから画像を読み取り、文字認識を実行します。※ 詳しくは、P.13 を、参照ください。

### 拡大読書

拡大読書の目的は、カメラから読み込んだ原稿を、直ちに拡大画像で見ることです。  
簡単なマウス操作で画像のスクロールや 拡大率の変更ができます。

### ※対応ファイル形式

PDF (. pdf)

画像(. bmp . gif , jpg . jpeg . jpe . jfif . png . tif . tiff)

### ツールボタン



**スキャン**・・・スキャナーから画像を取り込みます。Ctrl + N

**画像を開く**・・・保存している画像ファイルを開きます。Ctrl + O

**PDF を開く**・・・画像を解析して、文字認識を行います。Ctrl + B

**文字認識**・・・画像を解析して、文字認識を行います。F4

**拡大**・・・拡大読書モード切り替えます。Shift + F6 ※ P.17 参照

**保存**・・・取り込み画像を保存します。Shit + Ctrl + S ※ P.36 参照

**印刷**・・・取り込み画像を印刷します。Ctrl + P ※ P.38 参照


**スキャナーの設定**・・・取り込みスキャナーの設定を行います。 ※ P.22 参照


**認識オプション**・・・認識文書の書式や、自動ファイル保存について設定します。 ※P.24 参照


**表示オプション**・・・マイリード画面の表示環境を変更します。 ※P.27 参照

### ツールボタン2



 画像反転表示します。Ctrl + I

 取り込み画像の回転（右に 90 度回転します。） Ctrl + R

 画像を拡大します。Ctrl +

 画像を縮小します。Ctrl +





# 起動と終了

原稿の読み取りから読み上げまでの基本操作を説明しています。

## 起動から終了

MYREAD 7 の起動から終了までの操作を説明します。

### 1. スキャナーの電源を入れる

パソコンより先にスキャナーの電源を入れます。

※スキャナーとパソコンの電源が連動しているときは、スキャナーの電源を入れる操作は必要ありません。

### 2. パソコンの電源を入れる

次にパソコン本体の電源を入れます。しばらくすると **Windows** が起動します。

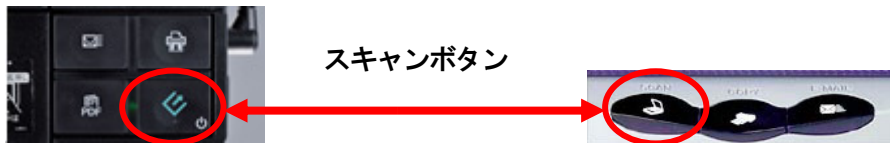
**Windows** の起動には1分から2分ほどかかります。

**Windows** が起動すると、**PC-Talker** (または **VDM**) が自動的に起動します。

### 3. MYREAD 7 を起動する

#### 簡単起動

スキャナーの、スキャンボタンを押します。※事前に設定が必要になります。



#### AOKメニューから起動

**F12** を押して、AOKメニューを出します。

上下矢印キーで、**MYREAD 7** を選択し、**[Enter]** を押します。

#### スタートメニューから起動

**Windows** キーを押してスタートメニューを起動します。

下矢印キーで、**MYREAD 7** を選択して、**[Enter]** を押します。

### 4. MYREAD 7 の操作

「MyRead7 スキャナー 読み取り」という音声ガイドがあります。これで、**MyRead7** が操作できる状態になりました。

※スキャンボタンを押した場合は、スキャナーが動き始め、読み上げが始まります。

**Esc** キーで、読み上げが、中断します。

## 5. MYREAD7の終了

それでは、MyRead7を終了させてみましょう。

### シュートカットでの終了

Alt キーを押しながら、F4 キーを押します。

点字キーでは、め+スペースキーを押します。

### メニューから終了

Alt キーを押してメニュー「ファイル」に入ります。

下矢印キーで、「マイリードの終了」に移動し、[Enter] を押します。

## 6. パソコンの電源を切る

Windows を終了させて、電源を切ってみましょう。

### 簡単終了

- ① F12 を押し、AOKメニューを起動します。
- ② 下矢印キーで、「Windows の終了」を選択して、[Enter] を押します。
- ③ 「Windows を終了してよろしいですか?はい」で、[Enter] を押します。
- ④ 音楽が聞こえ、パソコンの電源が自動的に切れます。



# 基本的な使い方

原稿の読み取りから読み上げまでの基本操作を説明しています。

## スキャナーの読み取り

原稿の読み上げ方法は、読み取りの実行です。読み取りは、原稿の取り込み、認識、読み上げまで 3つの工程を連続でおこないます。

原稿の取り込みは、スキャナーから原稿の画像をマイリードに読み込みます。

読み込んだ原稿の画像データから、文字データの文書に変換します。

認識後は直ちに、認識文書を読み上げ始めます。

マイリードでは、1枚の読み込みと、用紙を連続して読み込みがあります。

## 1. 用紙のセット

### フラットベット型スキャナー

スキャナーのガラス面に用紙をセットします。

**注意：**スキャナーにより、原稿セット位置が異なります。

スキャナーのマニュアルを参照してください。

用紙確認のため原稿カバーを素早く開くと、セットした用紙が原稿カバーにくっつき、用紙の位置がずれてしまいます。

### シートフィード型スキャナー

スキャナーのトレイに用紙をセットします。

シートフィード型スキャナーには普通、用紙の大きさに合わせて位置を調節できるガイド装置が付いています。これを調節しておくことで、用紙をスキャナーに対してまっすぐに給紙することができ、スムーズに読み取れます。

用紙のどちらの面を読み取るのかは、機種によって異なります。スキャナー付属のマニュアルを参照して、読み取る面を正しくセットしてください。スキャナー自体に表示がされている場合もあります。また、用紙の両面を一度に読み取ることが出来る機種もあります。お使いの機種が両面読み取りに対応しているかどうかは、こちらもスキャナーのマニュアルを参照してください。

## 2. 読み取りの実行

- 1.上下で「読み取り」を選択します。
- 2.Enter を、押します。(ここから自動実行)
3. スキャナから画像が読み取られます。レイアウト解析を、行います。
4. 読み上げる文字を認識します。
5. 読み上げが始まります。  
読み上げ中断は、**Esc** キーを押します。
- 6.Esc を押して、読み取り選択メニューに戻ります。



### 3. 連続読み取り

1回の読み取り実行で、複数枚の原稿を連続で読み取る操作を紹介します。

**F3** を押すと、原稿の連続読み取りが実行できます。

連続読み取りは、読み取り方法の選択メニューに戻らなくても、

**F3** を押してどこからでも実行できます。

1. 1枚目の原稿をスキャナーにセットします。

シートフィード型スキャナーでは複数枚セットすることも出来ます。

2. **F3** を押して、連続読み取りを実行します。

操作メニューから上下で「**連続読み取り**」を選択し **Enter** を、押します。

3. 原稿の取り込みを開始します。

複数枚セットした場合は、1枚目の取り込みが終わったあと、2枚目、3枚目と連続して取り込みます。

4. 原稿の取り込みが終わると、『認識 1枚目 残り数』の音声ガイドがあります。

取り込んだ原稿の文字認識が始まりますので、文字認識が終わるまで待ってください。

5. 文字認識が終わると、以下のメッセージで問い合わせがあります。

『次の原稿を読み取りますか？』

読み取りを行う場合は 原稿をセットし エンターキーを押してください。』

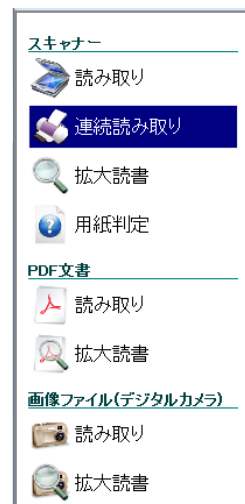
次の原稿がある場合、必ずスキャナーの原稿を取り替えてから **Enter** を押してください。

次の原稿の取り込みが始まります。この操作を最後の原稿まで繰り返してください。

最後の原稿まで終えたときは、問い合わせに対し **Escape** を押します。

『連続読み取り おわり』の音声ガイドがあり、次に進みます。

6. 今回読み取った認識文書を1枚目の内容から読み上げ始めます。



#### ※補足

原稿の品質によっては認識率が下がる可能性があるため、いろんな種類の原稿を一緒にして連続読み取りすることはお奨めできません。

文庫本の読み取りや、ワープロ原稿の読み取りなど、1枚目の認識率が2枚目以降も安定して続く予想されるときは、連続読み取りによって効率の良い作業ができます。

## PDF 文書

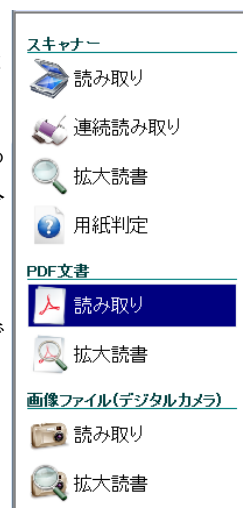
### 読み取り

複数ページが保存できる形式です。PDF ファイルを読み取ると、ファイルの保存されてある全ページを読み取ります。

読み取り中は、『ロード 何ページ 残り何ページ』のような進捗の音声ガイドがありますが、100 ページを越えるようなファイルなら、読み取りを完了するまで数分かかる場合があります。

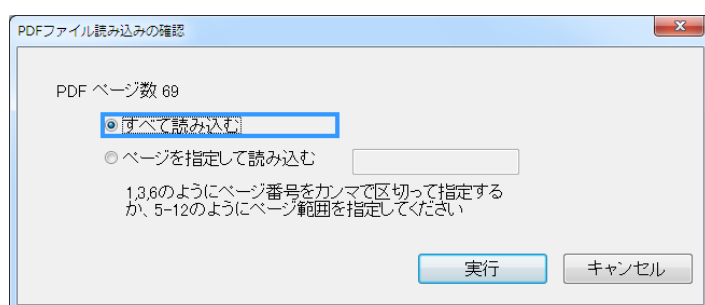
ご不便をおかけしますが、完了までしばらくお待ちください。

その間に読み取りを中止するには、**Esc** を押します。**Esc** を押すまでに取り込んでいるページは、そのままマイリードに残されます。



### ページ番号を指定して取り込む

ファイルメニュー [取り込み-PDF を開く] を実行してください。または、**Ctrl + B**



← →で 読み込む範囲を指定します。

**すべて読み込む** PDF ファイルのすべてのページを読み込みます。

**ページを指定して読み込む** 読み込むページを指定します。

**Tab** でページ番号の入力欄に移動します。

ページ番号の入力欄では、**1, 3, 6** のようにカンマで区切って指定するか、**5-12** のように範囲を指定します。

## ※ PDF 文書補足

### 埋め込みテキスト

#### 埋め込みテキスト付き

埋め込みテキストとは、画像で書かれた文字部分のテキストデータのことです。つまり、文字認識の結果が予めファイル内に格納されているようなものです。

マイリードは、文字認識をおこなわず、埋め込みテキストを認識文書として取り込んで、読み上げます。読み上げ前に『埋め込みテキスト あり』と音声ガイドがあります。

#### 埋め込みテキストなし

ページごとに取り込んだ画像データを自動的に文字認識をおこないません。そして、文字認識で作成できた認識文書を読み上げます。

文字認識を始めるタイミングで『埋め込みテキスト なし 認識』と音声ガイドがあります。

#### 部分的に埋め込みテキストがない

埋め込みテキストは、PDF ファイルの作成者の意図により、ページごとに付けたり、付けなかったりすることができます。

少し厄介ですが、例えば、ページ1と3には埋め込みテキストがあるのに、ページ2には埋め込みテキストがないファイルを読み取った場合を考えてみましょう。

マイリードは、ページ1と3の埋め込みテキストを認識文書として取り込みますが、ページ2の認識文書は空白状態で読み取りを終了します。注意してください。

この場合、ページ2に移動し、手動による文字認識行で認識文書を作成することができます。

**参考：**プルダウンメニュー [環境-認識オプション] の【認識文書に ページ番号を入れる】にチェックを入れると、認識文書のページの境に 『\*ページ1』のような文字が挿入されますので、空白のページが見つかりやすくなります。

## ファイル、デジタルカメラからの読み取り

スキャナーを使用せず、デジタルカメラで撮影した写真や、パソコンにあらかじめ保存しておいた画像から読み取りをおこなうことも出来ます。

1. デジタルカメラの写真を読み取る場合は、あらかじめデジタルカメラをパソコンへ接続して置く必要があります。
2. 選択メニューから上下で[ファイル デジタルカメラ][読み取り]を選択し Enter を押します。
3. 画像の読み込み画面が開き、ファイルを選択します。  
デジタルカメラが接続されている場合は、デジタルカメラ内のフォルダが一覧されています。  
そうでない場合は、パソコン内のフォルダが一覧されています。  
各設定項目は、Tab を押して移動します。  
読み込みを中止したいときは、Esc を押します。
4. ファイルを決定すると、スキャナーでの読み取りと同様に、認識が始まります。



### ※対応ファイル形式

画像(.bmp .gif .jpg .jpeg .jpe .jfif .png .tif .tiff)

※ 注意：PDF ファイルを指定した場合は画像ファイルと異なり、認識を実行しません。

PDF ファイルの各ページにテキストが埋め込まれていると、認識文書としてマイリードへ読み込まれます。PDF ファイルでは、画像を認識する代わりに、埋め込まれているテキストが認識文書として読み込みます。

PDF ファイルは、データの量が多いこともあり読み込みには時間がかかる場合があります。

### テキストが埋め込まれてないPDF ファイル

認識文書なしになりますので、文字認識 (F4) を、実行してください。

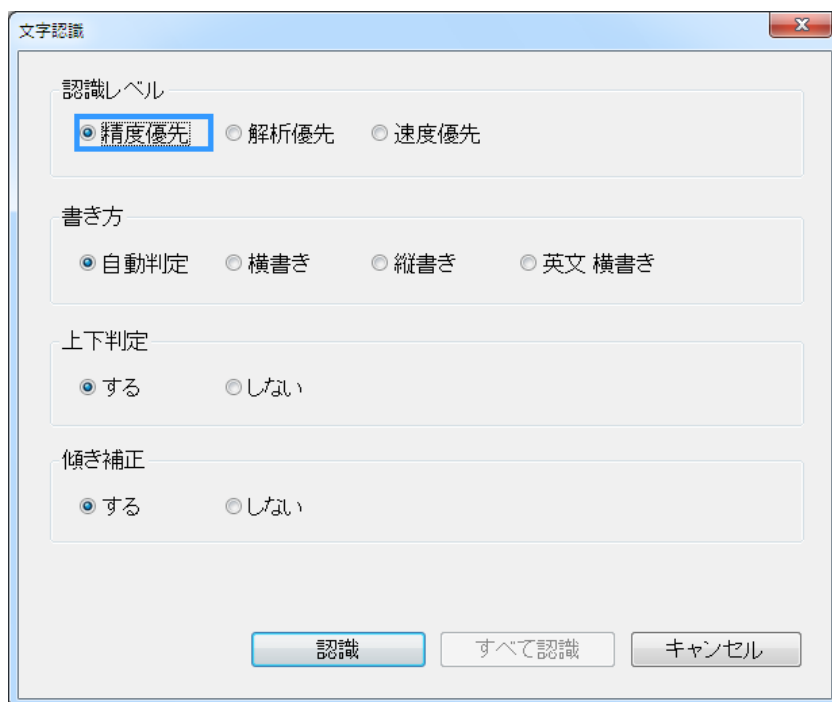
## 取り込み画像を読み上げるには

取込画像の内容を読み上げるためには「**文字認識**」が必要となります。原稿がどの様に書かれているか、取り込んだ原稿の画像品質がどんな感じであるか判っているときに有効な認識操作を紹介します。

**スキャナー読み取り**や、**ファイル デジタルカメラ読み取り**で満足のいく認識結果が得られなかったときに、解析方法を指定して再認識させることができます。

**文字認識**は、プルダウンメニュー [**ファイル-文字認識**] を実行します。または、**F 4**

### 文字認識



#### 認識レベル

適用する認識技術のレベルを次の中から設定します。

**精度優先** 独自の認識技術を適用します。

読み取りの初期値はこのレベルです。

このレベルで適切な認識結果が得られない場合に、その他のレベルに変更し再度認識してください。

**解析優先** 独自の認識技術を適用し、さらにできるだけ文字領域を取れるような解析をおこないません。黒に近い濃い背景色に白文字で書かれた原稿に効果的なレベルです。

**速度優先** 独自の認識技術の適用を極力抑えて短時間で解析をおこないます。

品質の良い原稿の場合は、このレベルで十分な認識結果が得られます。

なお、独自の認識技術が誤認識を生み出している可能性がない訳ではありません。その場合は、逆にこのレベルが効果的になります。



## 書き方

原稿が どの書き方で書かれているのかを次の中から設定します。

**自動判定** 横書きか 縦書きかを自動的に判定します。  
読み取りの初期値です。

**横書き** 必ず、横書き文書として認識します。

**縦書き** 必ず、縦書き文書として認識します。

**英文 横書き** 必ず、英語文書として認識します。

日本語の文書に対して指定すると、必ず誤認識してしまいます。

## 上下判定

原稿の向きを自動的に判定します。

**する** 原稿の向きを判定し自動的に補正します。

読み取りの初期値です。

例えば、上下が逆であると判定した場合は、取り込み画像を

**180 度回転**させ、上下の向きを補正してから認識を実行します。

**しない** 上下判定をおこないません。

文字認識後、**上下判定**による回転角度が、プルダウンメニュー [**ファイル画像プロパティ**] で、確認できます。

## 傾き補正

原稿の傾きを自動的に補正するか しないかを設定します。

**する** 傾きを解析し自動的に補正します。

読み取りの初期値です。

例えば、右に **10 度**傾いていると判定した場合は、

左に **10 度**回転させ、傾きをなくしてから認識を実行します。

**しない** 傾きを解析しません。

文字認識後、**傾き補正**角度が、プルダウンメニュー [**ファイル画像プロパティ**] で、確認できます。

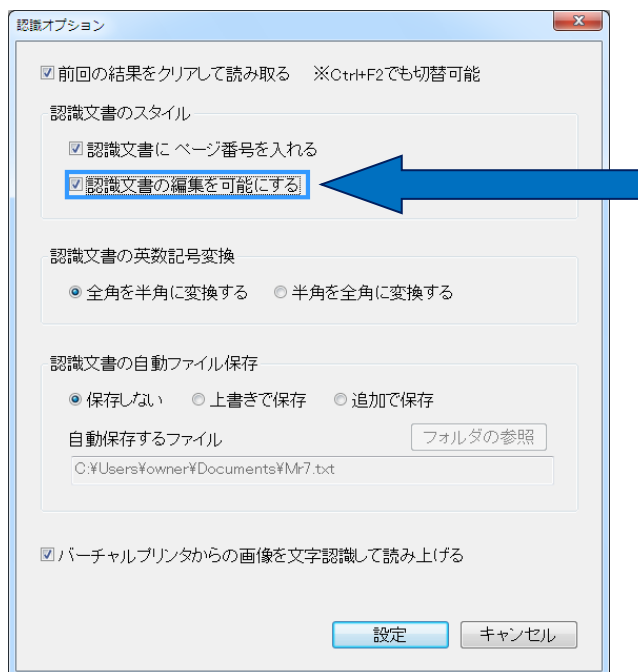
## 認識結果（テキスト）を編集する

認識結果は、出荷時には編集不可能な状態になっています。

認識結果の編集は、**MYWORD**と同じ感覚で操作できる、エディタが有ります。ワープロ機能（飾り付けなどの機能）が有りません。編集や読み上げコマンドは、同じようにご利用頂けます。

認識結果は、**テキスト、MYWORD5、Microsoft Word、Microsoft Excel、PDF ファイル、HTML**形式で保存できます。

メニュー **[環境-認識オプション]** を開き **[Tab]** で、**認識文書の編集を可能にする**にチェックを付けます。



## 認識文書を追加して読み取るには

2枚目以降の原稿を読み取る時、既に読み取ってある結果へ、追加して読み取っていく方法を紹介しま

す。  
**Ctrl + F2** を押して、次の設定モードを切り替えられます。

**前回の結果に追加する** 認識結果を追加しながら読み取るモードです。

**前回の結果をクリアする** 認識結果をクリアしてから読み取るモードです。

追加しながら読み取るモードは、ページの続く原稿をあとからまとめて確認するときに便利です。また、1つの原稿に対しすべての読み取り方法を実行したあとから、各読み取り方法の認識結果を比較して、その原稿に最適な読み取り方法を調べることもできます。

マイリード 起動時のモードは『前回の結果をクリアする』に設定していますので、必要に応じてモードを切り替えてください。



# 拡大読書器としての使い方

主に弱視者の方を対象に説明をします。

## 拡大読書

拡大読書の目的は、スキャナーから取り込んだ画像、保存しているファイル、デジタルカメラから読み込んだ原稿を直ちに拡大画像で見ることです。

簡単なマウス操作で画像のスクロールや拡大率の変更ができます。

拡大読書も、読み取りと同じ要領で実行します。

スキャナーへ原稿をセットします。

読み取り方法を選択するメニューから **[拡大読書]** を選択して実行します。

あとは、スキャナーの読み込みが終わり、拡大読書の画面が表示されるまで待つだけです。



**[PDF 文書]** **[拡大読書]** を選択すれば、パソコンに保存してある PDF 文書を拡大読書できます。

**[ファイル デジタルカメラ]** **[拡大読書]** を選択すれば、デジタルカメラやパソコンに保存してある画像が拡大読書できます。

## 拡大読書中の操作

拡大読書の画面では、次のマウス操作ができます。

### 画像のスクロール

画像を移動させたい方向へマウスを動かします。

マウスは、机の上など平らな所に置いて 動かします。

机の端まで行って動かせなくなってしまうような場合、マウスをいったん 机の上から持ち上げて、元の位置へ戻してから 操作を続けます。

マウスを動かす速さによって、画像が移動する速さも変わります。

### 画像の拡大

マウスの左ボタンをクリックします。

### 画像の縮小

マウスの右ボタンをクリックします。

## マウスが接続されていない場合

### 画像のスクロール

← → ↑ ↓を押して、上下左右に画像を移動させます。

### 画像の高速スクロール

[Shift] を押しながら ← → ↑ ↓を押します。

### 画像の拡大

[Page Down] を押します。

### 画像の縮小

[Page Up] を押します。

### クイック拡大

[Tab] を押すと、画面の中央部分を一時的に拡大できます。

[Tab] を放すと元の拡大状態に戻ります。

## 画像を回転させないと正しい向きで見ることができない場合

画像を回転してください。

### 画像の右 90 度回転

Ctrl + R を押して、画像を回転します。

点字コマンドは、か + 無変換 (回転のか) です。

正しい向きになるまで繰り返してください。

## 画像の背景色と文字色を逆にすると見やすい場合

表示色を反転してください。

### 画像の色を反転して表示

Ctrl + I を押して、画像の表示色を反転します。

点字コマンドは、い + 無変換 (色反転のい) です。

## 拡大読書中の操作に困ったら

拡大読書専用の操作ヘルプを表示してください。

### 拡大読書操作ヘルプ

F1 を押して、ヘルプ画面を表示します。

ヘルプ画面では、拡大読書中の操作コマンドが閲覧できます。

ヘルプ画面を終わらせるときは、Esc を押してください。

## 拡大読書の終了

拡大読書を終了するには、[Shift] を押しながらマウスの左ボタンをクリックします。

または、[Esc] だけを押しても終了できます。

拡大読書を終了してから、次の原稿を読み込むなど作業を続けてください。

## ※拡大読書へ戻すには

今の画像をもう一度、拡大読書の画面で見たいときは、拡大読書を終了したのと同じように [Shift] を押しながらマウスの左ボタンをクリックして、拡大読書の画面へ戻ります。

つまり、このマウス操作で拡大読書と通常のマイリード画面を交互に切り替えられます。

また、キー操作では、**Shift + F6** を押して拡大読書の画面へ戻ります。

## 読み取り画像を拡大読書する

読み取り実行によってできた画像も、**Shift** を押しながらマウスの左ボタンをクリックし、拡大読書の画面に切り替えて見ることができます。キー操作では、**Shift + F6** を押します。

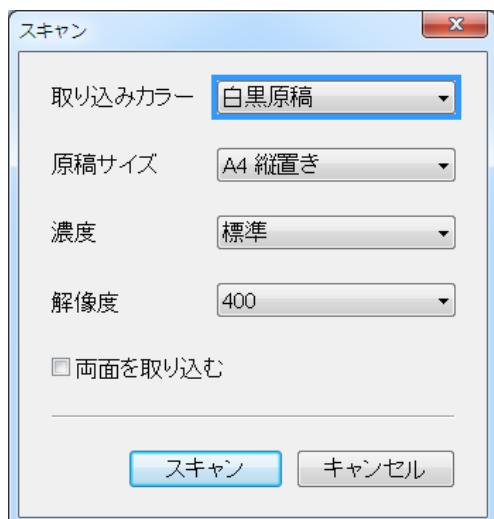
また、認識画像を表示している場合は、認識領域の単位で表示位置を移動できます。

認識領域とは、文章や図の書かれている部分を四角い枠で表示した領域のことです。

次の領域へ移動	Space
前の領域へ移動	Shift + Space
先頭領域へ移動	Home
最終領域へ移動	End

## スキャン

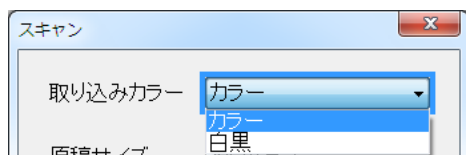
画像をスキャナーから直接取り込むには、トップメニュー [ファイルスキャン] から行います。



### 取り込みカラー

スキャナーから読み込む色を指定します。

「カラー」または「白黒」を選択してください。

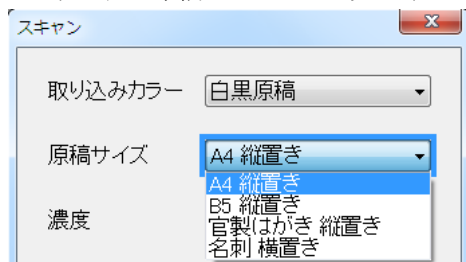


**カラー** 取り込んだ画像は、24ビットカラーやフルカラーとも呼ばれます。

**白黒** 取り込んだ画像はモノクロとも呼ばれます。

### 原稿サイズ

スキャンする原稿のサイズを 次の中から設定します。



**A4 縦置き** マイリーの墨字マニュアルがこのサイズです。

**B5 縦置き** 点字用紙が一般的にこのサイズです。

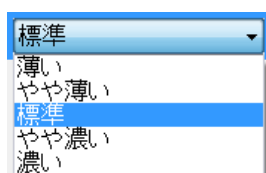
**官製はがき 縦置き** 官製はがきのサイズです。

**名刺 横置き** 名刺を横長の向きで置いたサイズです。

スキャンする原稿が どのサイズにも当てはまらないときは、原稿より大きいサイズを設定してください。

## 取り込み濃度

取り込み濃度の設定を行います。文字部分が薄い文字のときは、「濃い」を、用紙や背景の色が濃い場合は「薄い」を指定します。通常は、「標準」を指定します。



## 解像度

スキャナーから読み込む精度を指定します。

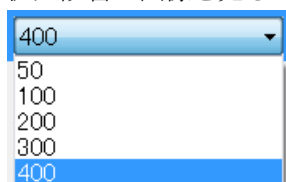
解像度は画像のきめ細かさを表す数値で、解像度が高いほど 画像は 本物の写真のようにきめ細かく表現できます。解像度が低くなると画像は粗くなり、文字の輪郭線や曲線がなめらかに表現できなくなったりします。

マイリードでは、解像度を〈50〉から〈600〉までの値で設定します。 **※注意**

解像度が高くなるほど、スキャンする時間は長くなります。

認識文書を作成する目的の画像を取り込むなら〈400〉が最適です。

拡大読書で画像を見るだけなら〈100〉〈200〉で十分です。



**※注意**：お使いのスキャナーにより、取り込みできる解像度は異なります。

## 両面を取り込む

**チェックあり** 両面読み取りに対応しているスキャナーで両面読み取りを、おこないます。

**チェックなし** 両面読み取りをおこないません。



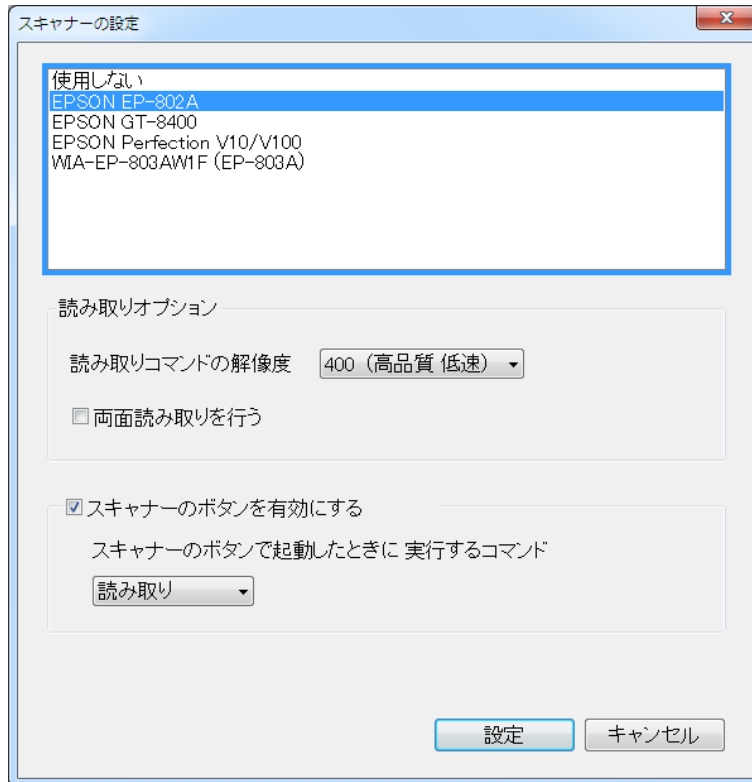
## その他の設定・操作

各種設定について説明します。

### スキャナーの設定

マイリードで使用する、スキャナーの設定を行います。

メニュー [環境-取り込み機器の設定] から、ご使用のスキャナーの **TWAIN ドライバ** を指定します。



#### 読み取りオプション

##### 読み取りコマンドの解像度

読み取り、連続読み取りで、スキャナーが原稿を読み取る解像度を設定します。  
数字が大きいが、きめ細かい高品質の画像になります。

**200 (低品質 高速)**、**300**、**400 (高品質 低速)** から、  
スキャナーによっては選択した解像度がサポートされていない場合があります。  
その場合は近い設定値が使われます。

##### 両面読み取りを行う

**チェックあり** 一度のスキャンで原稿の表と裏の面を読み取ります。  
両面スキャンに対応したスキャナーのみ有効です。

**チェックなし** 両面を読み取りません。



## スキャンボタンを有効にする

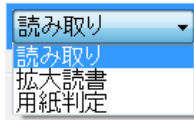
**チェックあり** スキャナーのボタンを使って読み取る操作を有効にします。

**チェックなし** スキャナーのボタンを使って読み取る操作を無効にします。

## スキャナーのボタンで起動したときに実行するコマンド

マイリードが起動していなくても、ボタンを押すと自動的にマイリードが起動します。

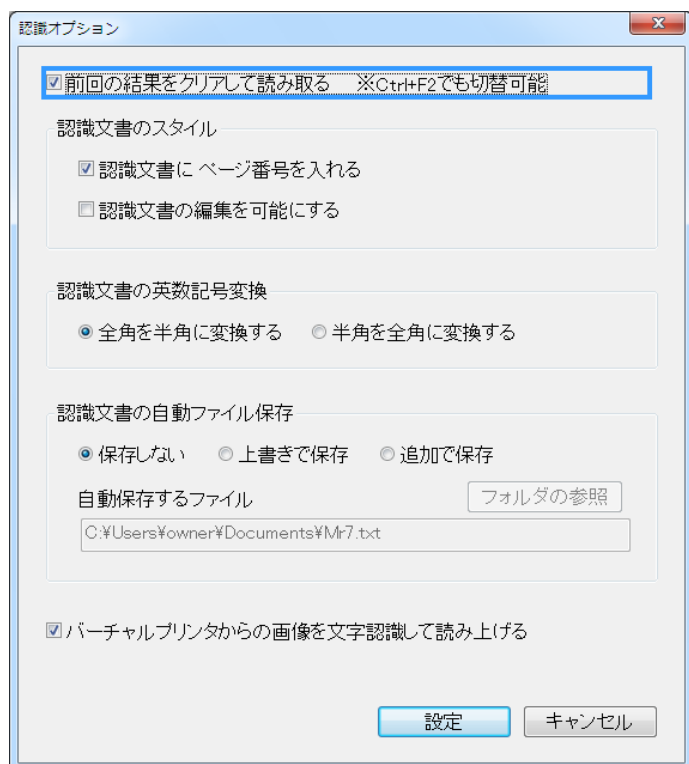
この起動と同時に実行させる読み取りを、読み取り、拡大読書、用紙判定から設定します。



※ スキャナーのボタンを利用するには、Windows への登録が必要です。

## 認識オプション

認識文書の書式や、自動ファイル保存について設定できます。



### 前回の結果をクリアして読み取る

**チェックあり** 前回の認識結果をクリアしてから読み取るモードです。 ※初期値

**チェックなし** 前回の認識結果へ追加して読み取るモードです。

これは、Ctrl + F2 を押して切り替える設定モードと同じです。

### 認識文書のスタイル

#### 認識文書に ページ番号を入れる

**チェックあり** 認識文書の各ページの先頭行に「\*ページ番号」の形式で挿入します。

**チェックなし** ページ番号を挿入しません。 ※初期値

複数のページを読み取った場合、各ページの文書の始まりを分かりやすくするためにページ番号を挿入しておくとう便利です。

#### 認識文書の編集を可能にする

**チェックあり** 文字の追加や修正・削除といった編集ができるようになります。

**チェックなし** コピー、検索以外の編集機能は使えません。 ※初期値

### 認識文書の英数記号変換

**全角を半角に変換する** 認識文書の 英字、数字、記号を半角文字で作成します。 ※初期値

**半角を全角に変換する** 全角文字で作成します。

一般的に、英単語や 金額などの数値は、半角文字のほうが 見やすいです。

## 認識文書の自動ファイル保存

読み取りの実行後、認識文書を自動的にファイル保存するか、次の中から設定します。

**保存しない** ファイル保存しません。 ※初期値

**上書きで保存** 既存のファイルに上書き保存します。

**追加で保存** 既存のファイルに追加して保存します。

保存するファイル名は、次の設定項目で指定できます。

## 自動保存するファイル

認識文書を自動保存するファイル名を入力します。

ファイル名は、保存先のフォルダ名も含めて入力してください。

保存先のフォルダを変更したい場合、[**フォルダの参照**]を使うと便利です。

### フォルダの参照

ここで、**Enter** を押すと フォルダの参照画面が開きます。

保存先に指定したいフォルダを一覧の中から決定してください。一覧の基本操作は

**↑↓**を押して「**フォルダ名**」を選択し **Enter** で そのフォルダの中へ移動できます。

**Home** を押して「**上のフォルダへ**」を選択し **Enter** で 1つ上のフォルダに戻ります。

**End** を押して「**現在のフォルダで決定**」を選択し **Enter** で フォルダを決定します。

## バーチャルプリンタからの画像を文字認識して読み上げる

バーチャルプリンタとは、他のアプリケーションの印刷内容を直接、マイリードで認識できる機能です。

マイリードをインストールすると、プリンター一覧に「**MyRead で文字認識**」という項目が追加されます。

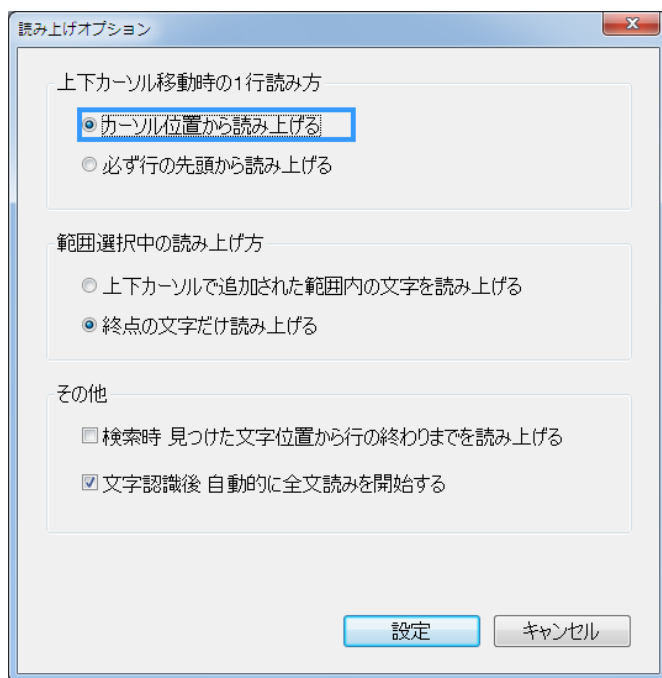
他のアプリケーションで印刷する際に、この項目を選んで印刷します。すると、そのアプリケーションの印刷内容が、画像としてマイリードに読み込まれ、文字認識がおこなわれます。

**チェックあり** 印刷イメージを受け取りと同時に文字認識します。 ※初期値

**チェックなし** 文字認識しません。

## 読み上げオプション

読み上げ操作の環境設定を行います。



### 上下カーソル移動時の1行読み方

上下カーソル移動時の1行読みの読み方を設定します。

**カーソル位置から読み上げる** ※初期値

**必ず行の先頭から読み上げる**

### 範囲選択中の読み上げ方

カーソル移動とともに変化する選択範囲の読み上げ方を変更します。

**上下カーソルで追加された範囲選択内の文字を読み上げる**

**終点の文字だけを読み上げる** ※初期値

### その他

**検索時 見つけた文字位置から行の終わりまでを読み上げる**

検索を実行すると 見つけた文字にカーソルが移動します。この移動とともに読み上げる方法を選択します。

**チェックあり** 移動位置から行末まで読み上げます。

**チェックなし** 移動位置の文字のみ読み上げます。 ※初期値

**文字認識後 自動的に全文読みを開始する**

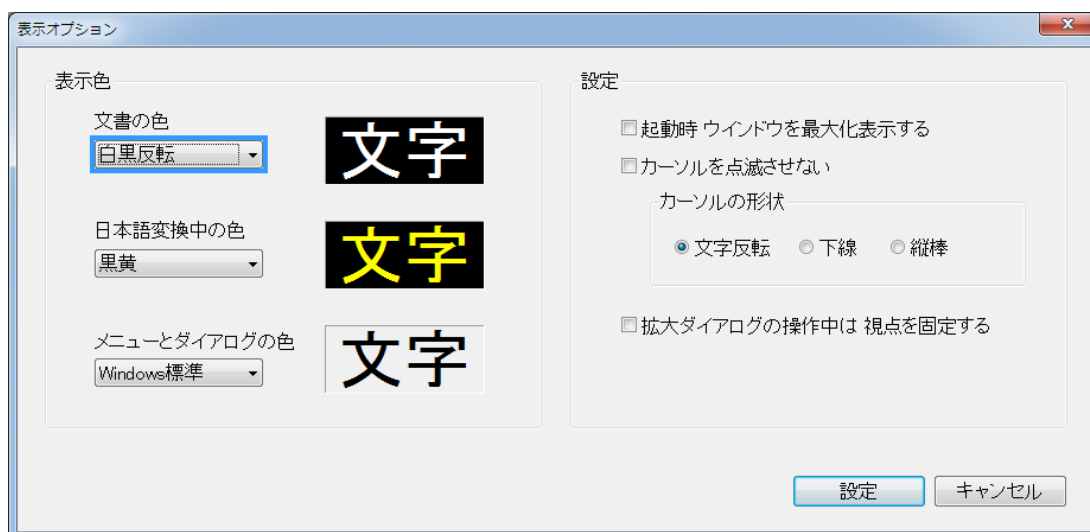
画像解析で文字認識結果を、全文読み上げを行うかを設定します。

**チェックあり** 自動的に全文読みを行います。 ※初期値

**チェックなし** 読み上げをせず先頭の文字にカーソルが移動します。

## 表示オプション

表示オプションでは、マイリード画面の表示環境を変更できます。弱視者のかたに配慮したいろんな設定項目を用意しています。



### 画面の色

マイリードの背景と文字色の組み合わせを設定します。

**Windows 標準** Windows の標準色を使用します

<b>白黒</b>	背景は白、 文字は黒
<b>白黒反転</b>	背景は黒、 文字は白 ※初期値
<b>黒黄</b>	背景は黒、 文字は黄色
<b>黒黄反転</b>	背景は黄色、 文字は黒
<b>黒緑</b>	背景は黒、 文字は緑
<b>黒緑反転</b>	背景は緑、 文字は黒
<b>青黄</b>	背景は青、 文字は黄色
<b>青黄反転</b>	背景は黄色、 文字は青

### 日本語変換中の色

文書の編集で使用する日本語変換の色を設定します。

<b>白黒</b>	背景は白、 文字は黒
<b>白青</b>	背景は白、 文字は青
<b>白水色</b>	背景は白、 文字は水色
<b>黒黄</b>	背景は黒、 文字は黄色 ※初期値

## メニューとダイアログの色

メニュー操作中の選択項目の色と、ダイアログ画面の文字入力域や一覧の色を設定します。

**Windows 標準** Windows の標準色を使用します。 ※初期値

<b>白黒</b>	背景は白、 文字は黒
<b>白黒反転</b>	背景は黒、 文字は白
<b>黒黄</b>	背景は黒、 文字は黄色
<b>黒黄反転</b>	背景は黄色、 文字は黒
<b>黒緑</b>	背景は黒、 文字は緑
<b>黒緑反転</b>	背景は緑、 文字は黒
<b>青黄</b>	背景は青、 文字は黄色
<b>青黄反転</b>	背景は黄色、 文字は青

## 設定

### 起動時 ウィンドウを最大化表示する

**チェックあり** マイリードの起動時に、ウィンドウを最大化して表示します。

**チェックなし** 前回終了時のウィンドウサイズで表示します。 ※初期値

### カーソルを点滅させない

**チェックあり** 文書のカーソルを反転したまま点滅しないで表示します。

**チェックなし** 文書のカーソルを点滅させて表示します。 ※初期値

点滅によって目が疲れやすいかたは、この項目をチェックします。

### カーソルの形状

文書のカーソルの形状を 次の中から設定します。

**文字反転** カーソル上の文字全体を反転して表示します。 ※初期値

**下線** カーソル上の文字に、下線を表示します。

**縦棒** カーソル上の文字 左側に、縦棒を表示します。

### 拡大ダイアログの操作中は 視点を固定する

視野狭窄の弱視者に有効な設定です。

ダイアログの操作では、Tab を押して注目する項目を移動します。

注目する項目を画面の中央へ表示させることで、視野が固定できるようになります。

**チェックあり** 視点を固定する。

**チェックなし** 固定しない ※初期値

※ [表示-メニューとダイアログの拡大率] が [拡大1] または [拡大2] に設定されているとき有効です。

## メニューやダイアログを拡大する

プルダウンメニュー、ダイアログ画面に表示される文字の大きさを拡大できます。

プルダウンメニュー [表示-メニューとダイアログの拡大率] の中から拡大率を選択してください。

[通常] [拡大1] [拡大2] [Windows 標準] の順で、文字の大きさが拡大します。



## 文書を拡大する F6

認識文書の文字を拡大します。拡大1から拡大7まで変更できます。

認識文書の左側に表示されている画像も一緒に拡大されます。

## 画像を拡大する Ctrl + +

画像の拡大率を下げる Ctrl + -

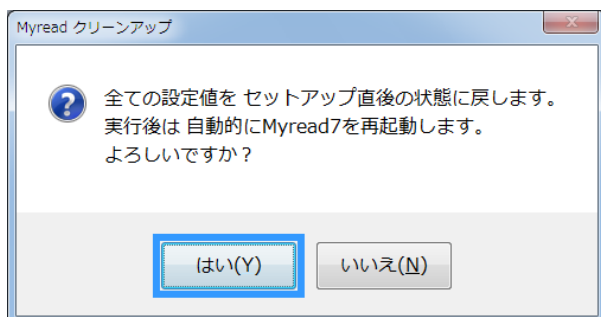
画像のサイズや 画像の文字の大きさによっては、文書の拡大率はそのまま、画像だけ拡大率を調整させたいと思います。

## 画像の色を反転する Ctrl + I

原稿を認識した結果によっては、認識画像の背景と文字の色が逆に表示されます。こんなときは、画像の背景と文字の色を一瞬にして反転表示させることができます。

## 環境のクリーンアップ

拡大率や表示オプションの他、マイリードの環境設定値を出荷時の値に戻す機能です。



## テンキー操作を有効にする

テンキーの付いたキーボードをお使いであれば、テンキーをマイリードの操作に便利に利用できます。

**テンキーコマンドを有効にする** プルダウンメニュー [環境-テンキー操作を有効にする] で、Enter を、押します。有効になると、メニューが『テンキー操作を無効にする』に変わります。

**テンキーコマンドを無効にする** プルダウンメニュー [環境-テンキー操作を無効にする] で、Enter を、押します。無効になると、メニューが『テンキー操作を有効にする』に変わります。

## テンキーコマンド一覧

- 8 上の行 (↑)
- 2 下の行 (↓)
- 4 左の文字 (←)
- 6 右の文字 (→)
- 9 前の画像 (Page Up)
- 3 次の画像 (Page Down)
- . Esc
- Enter 読み取り ※2 回連続で押します
- + 連続読み取り ※2 回連続で押します





## 標準の PDF ビューアに設定する

エクスプローラなどから PDF ファイルを開くと、通常は **Adobe Reader** などが開かれます。これを、マイリードで開くように設定を変更します。

**標準の PDF ビューアにする**      プルダウンメニュー [環境-標準の PDF ビューアにする] で、Enter を押します。有効になると、メニューが『標準の PDF ビューアを解除する』に変わります。

**標準の PDF ビューアを解除する**      プルダウンメニュー [環境-標準の PDF ビューアを解除する] で、Enter を押します。解除すると、メニューが『標準の PDF ビューアにする』に変わります。



## 画像の編集

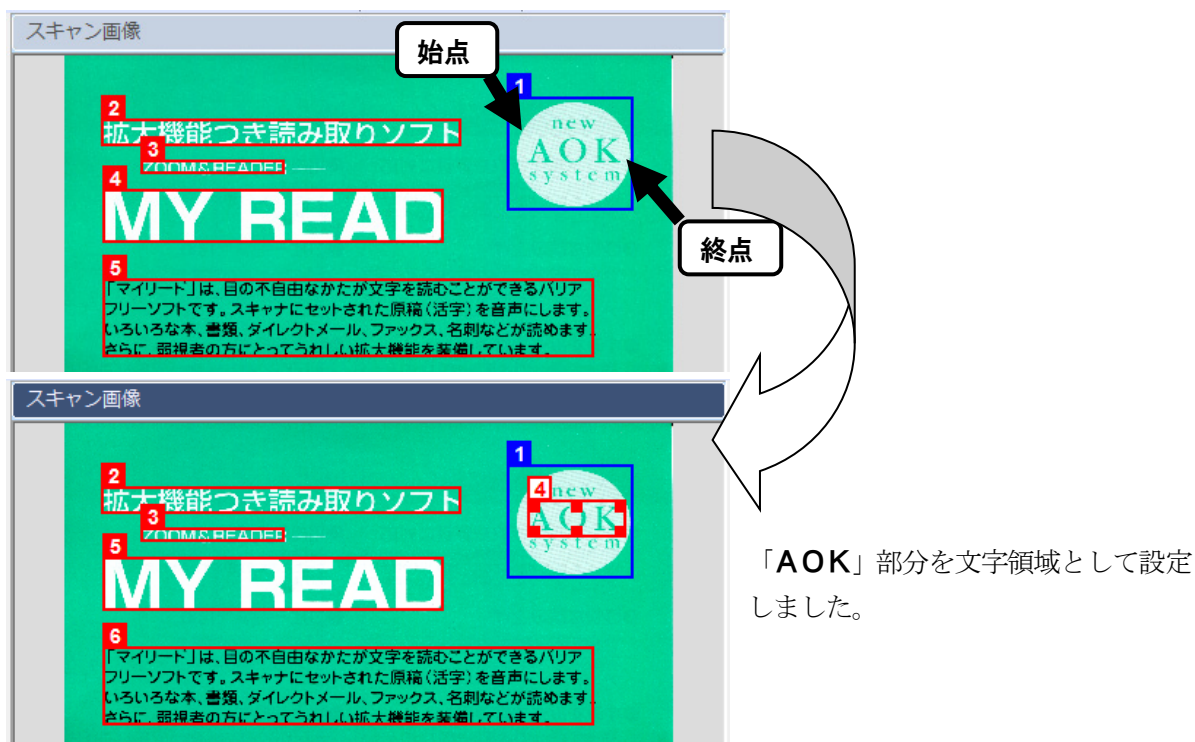
認識画像の領域や取り込み画像の編集について説明します。

### 手動による認識領域設定

認識した結果、領域が正しく取られていない時などに、マウスによる領域編集が可能です。

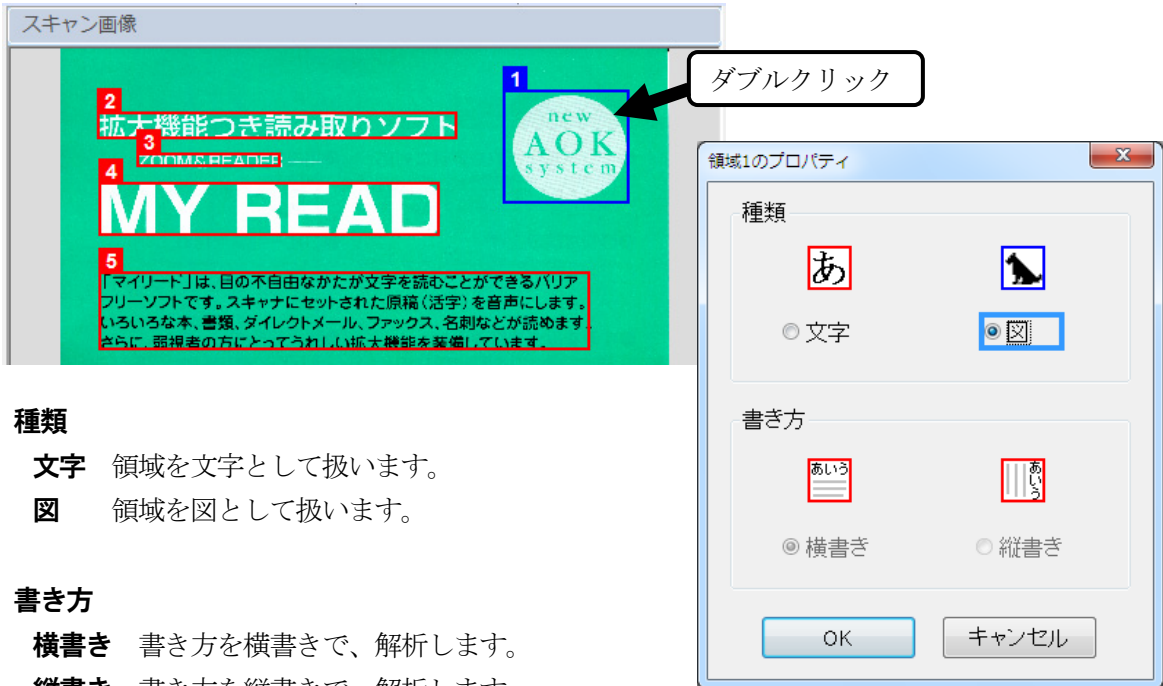
#### 領域設定

マウスで始点をクリックしたまま終点まで移動し、ボタンから手を離します。



## 領域プロパティの変更

マウスで、領域をダブルクリックして、領域のプロパティを変更します。



### 種類

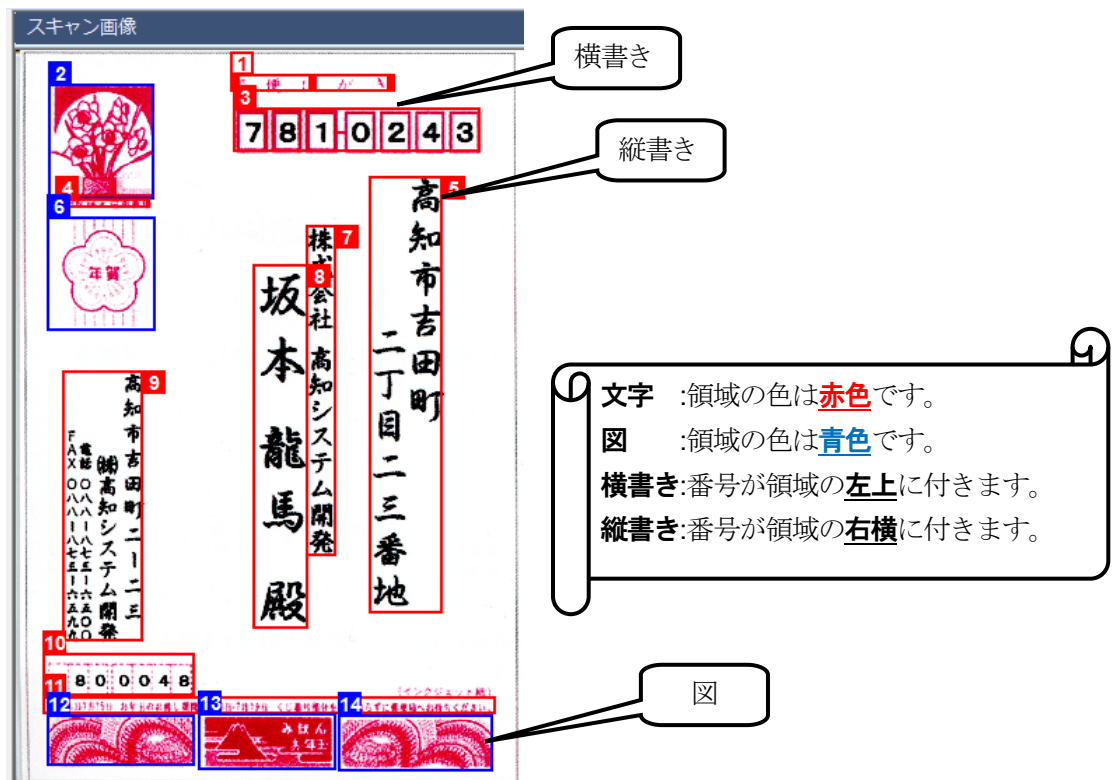
**文字** 領域を文字として扱います。

**図** 領域を図として扱います。

### 書き方

**横書き** 書き方を横書きで、解析します。

**縦書き** 書き方を縦書きで、解析します。



## 画像の加工

### 取り込み画像を回転する

画像を回転させないと正しい向きで見ることができない場合、画像を回転してください。

画像を回転するには、プルダウンメニュー **「画像-回転」** から回転角度を選択して実行します。回転角度には **「右90度」** **「左90度」** **「180度」** があります。

また、**Ctrl + R** を押して **右90度の回転** を実行できます。

点字コマンドは、**か + 無変換 (回転の か)** です。



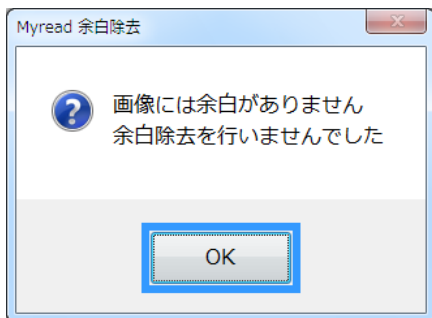
### 画像の余白を除去する

例えば、写真をスキャナーで取り込み、その画像を利用したいとします。

スキャン画面の **「原稿サイズ」** には、写真の大きさに該当するサイズがないので、写真よりも大きい **「A4縦置き」** を設定してスキャンを実行することになります。このような場合、取り込んだ画像には、写真以外の余白ができてしまいます。この余白部分を 画像から自動的に除去する機能があります。

画像の余白部分を除去するには、プルダウンメニュー **「画像-余白除去」** を実行します。

画像に余白がなかったとき、『**画像には余白がありません。余白除去をおこないませんでした**』と確認のメッセージを出力します。



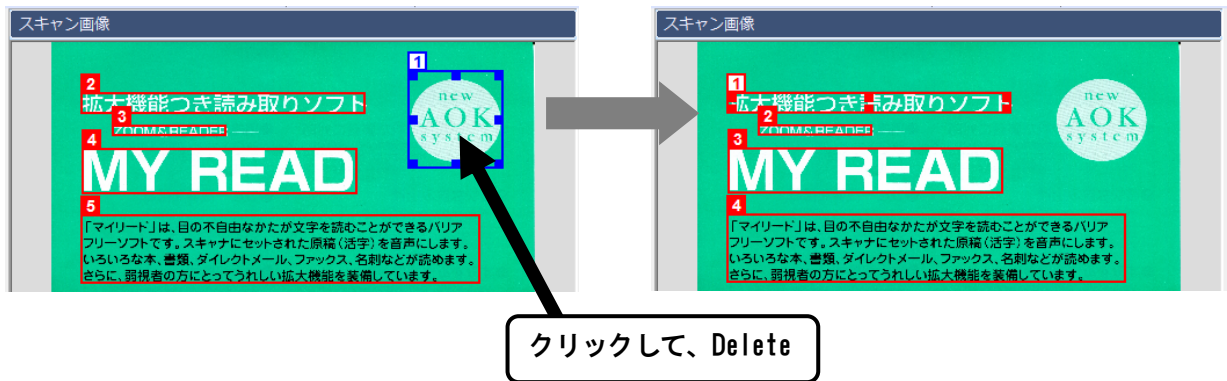
## 領域のサイズ変更

マウスで、領域をクリックし、領域枠の角または、センターの・部分をクリックしたまま領域幅を変更します。



## 領域削除

領域を削除したい部分をクリックし [Delete] を、押します。



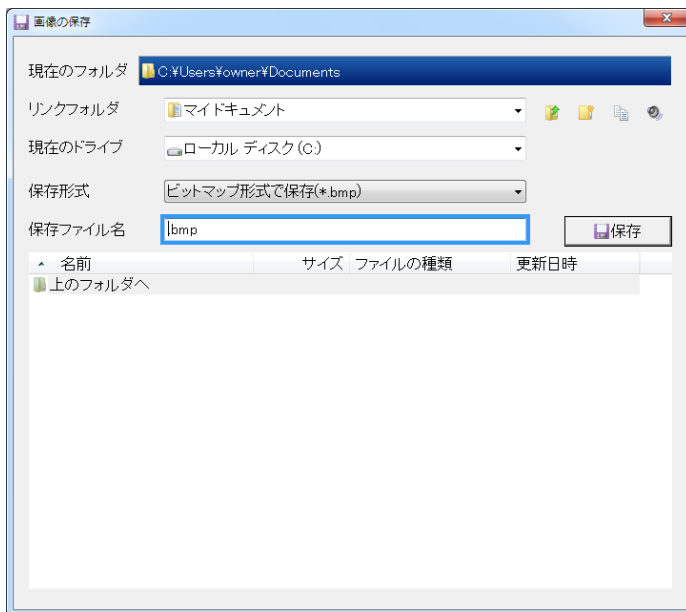
## 画像の保存

スキャナーから取り込んだ重要な原稿や、あとでも拡大読書したい原稿などは、その取り込み画像をファイル保存しておくると便利です。あとからその原稿が必要になったとき、原稿を探し出すよりも、画像ファイルを読み込むほうが楽な作業ですね。

また、保存した画像ファイルは、画像を扱うことのできるアプリケーション上で読み込んで利用していただくこともできます。

マイリードでは現在のページの画像をファイルに保存する事が出来ます。

プルダウンメニュー [**ファイル**-**保存**-**画像の保存**] を実行します。または、**Ctrl + Shift + S**



画像の保存画面が開き、ここで ファイル名などを設定してから保存します。

各設定項目は、**Tab** を押して移動します。保存を中止したいときは、**Esc** を押します。

**保存先のフォルダ確認 Alt + F5**

### 保存ファイル名

保存ファイルの名前を入力します。入力したファイル名で保存する場合、**Enter** を押します。

ファイルの拡張子によって、保存する画像のファイル形式を指定できます。

拡張子を省略した場合は、**BMP** ファイルで保存します。

### 一覧

既存のファイル名や フォルダ名が一覧されています。

↓↑で ファイル名や フォルダ名を選択します。

ファイル名を選択して **Enter** を押すと、そのファイル名で上書保存できます。

フォルダ名を選択して **Enter** を押すと、そのフォルダ内の一覧に変更できます。

一覧先のフォルダやドライブ番号が変更されると、保存先もその場所に変更されます。

**【現在のドライブ】** を変更して 一覧先のドライブ番号を変更することもできます。

**【保存形式】** を変更して 一覧するファイルの種類を変更することもできます。

### 現在のドライブ

← →で ドライブ番号を設定します。

## 保存形式

← →で 保存するファイルの形式を 次の中から設定します。

ここで選択を変更すると、【保存ファイル名】へ入力されているファイル名の拡張子も変更されます。

**ビットマップ形式で保存(\*. bmp)**

**GIF 形式で保存(\*. gif)**

**JPEG 形式で保存(\*. jpg \*. jpeg \*. jpe \*. jfif)**

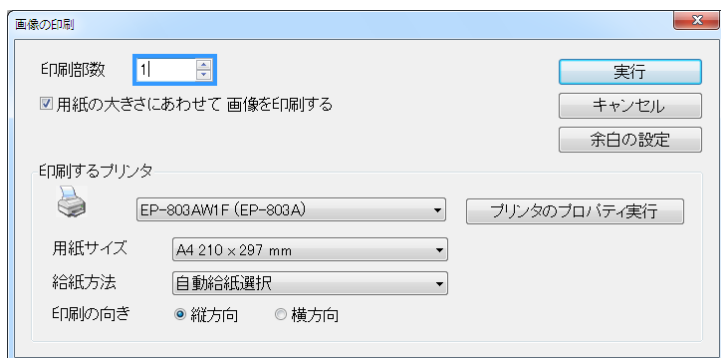
**PNG 形式で保存(\*. png)**

**TIFF 形式で保存(\*. tif \*. tiff)**

## 画像の印刷

プリンタを使って、現在のページの画像を印刷します。

プルダウンメニュー [ファイル印刷-画像の印刷] を実行します。または、**Ctrl + Shift + P**



各設定項目は、**Tab** を押して移動します。  
チェック項目は、**Space** を押して チェック状態を切り替えます。  
選択項目は、**← →**を押して変更します。  
最後に [**実行**] まで移動して、**Enter** を押すと印刷を実行します。  
印刷を中止したいときは、**Esc** を押します。

### 印刷部数

印刷する部数を 数値で入力します。

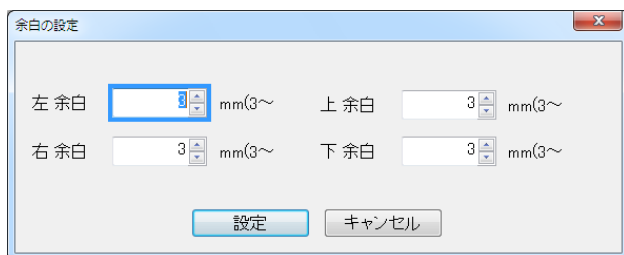
### 用紙の大きさにあわせて画像を印刷する

**チェックあり** 用紙の大きさに合うよう画像サイズを拡大縮小して印刷します。 ※初期値

**チェックなし** 画像サイズを調整しないで印刷します。

### 余白の設定

用紙の 上下左右に設ける余白の幅を変更します。



**左余白、右余白、上余白、下余白** の各項目に、余白の幅をミリ単位で入力します。  
[**設定**] に移動して、**Enter** を押すと余白の設定を完了し、印刷画面に戻ります。

### 印刷するプリンタ

プリンタを2台以上お持ちのかたは、一覧の中から印刷するプリンタを設定します。

### 用紙サイズ

プリンタがサポートしている用紙サイズの名前が一覧されています。

この中から印刷する用紙を設定します。

### 給紙方法

用紙がセットされている、**トレイ、フィーダ**といった用紙の給紙方法を設定します。

### 印刷の向き

用紙の向きを、**縦方向** と **横方向** の中から設定します。



## プリンタのプロパティ実行

印刷するプリンタ自身の環境設定を呼び出します。

プリンタ自身の設定内容については、お使いのプリンタ付属のマニュアルで確認してください。

**※注意：**この設定操作に移ると、音声に伴わない場合もあるので注意してください。

## PDF ファイルに保存

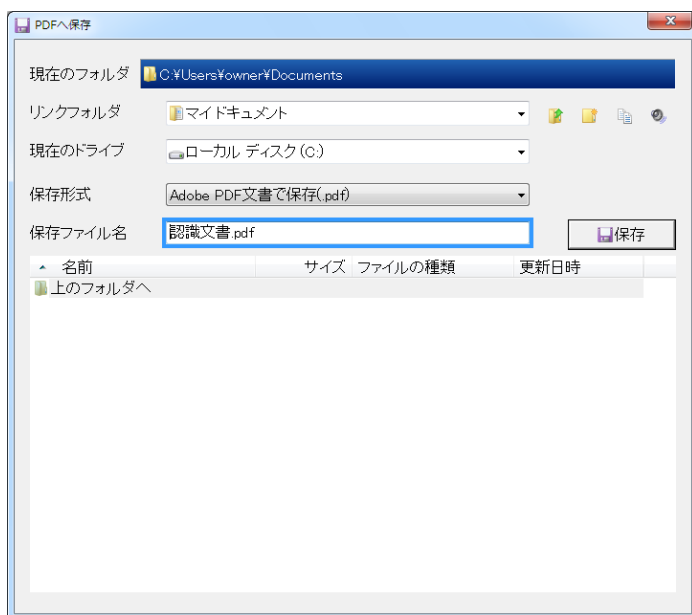
PDF ファイルの優れたところは、1 ページ単位に、画像とその画像に書き込まれた文書を同時に保存できることです。晴眼者や弱視の方なら画像から内容が把握できますし、視覚障がい者なら文書を読み上げて把握できますので、皆さんで共有し利用できるファイルとなるのではないのでしょうか。

マイリードでは、読み取っているすべてのページを PDF ファイルに保存する事が出来ます。

保存した PDF ファイルには、次の仕様や制限がありますので、まずはご参考にしてください。

- ・ 認識文書は透明テキストで PDF ファイルに埋め込まれます。
- ・ 保存したファイルをマイリードに読み込んだ場合、領域はページ画像全体の1つになります。
- ・ 認識文書にあった表罫線はなくなり、セル内の文字のみ読み込みます。

プルダウンメニュー [ファイル保存-PDF へ保存] を実行します。または、Ctrl + Shift + B



PDF へ保存画面が開き、ファイル名などを設定してから保存します。

各設定項目は、Tab を押して移動します。

保存を中止したいときは、Esc を押します。

### 保存ファイル名

保存ファイルの名前を入力します。

入力したファイル名で保存する場合、Enter を押します。

拡張子の入力は省略出来ます。

### 一覧

既存のファイル名や フォルダ名が一覧されています。

↓↑で ファイル名や フォルダ名を選択します。

ファイル名を選択して Enter を押すと、そのファイル名で上書保存できます。

フォルダ名を選択して Enter を押すと、そのフォルダ内の一覧に変更できます。

一覧先のフォルダやドライブ番号が変更されると、保存先もその場所に変更されます。

【現在のドライブ】を変更して 一覧先のドライブ番号を変更することもできます。

### 現在のドライブ

← →で ドライブ番号を設定します。

## PDF 形式の添付でメールを送る

読み取ったすべてのページを **PDF 形式**の添付ファイルにし、**マイメール3**の新規メール作成を起動する便利なコマンドを用意いたしました。

※ このコマンドは**マイメール3**をインストールしたパソコンでのみ有効です。

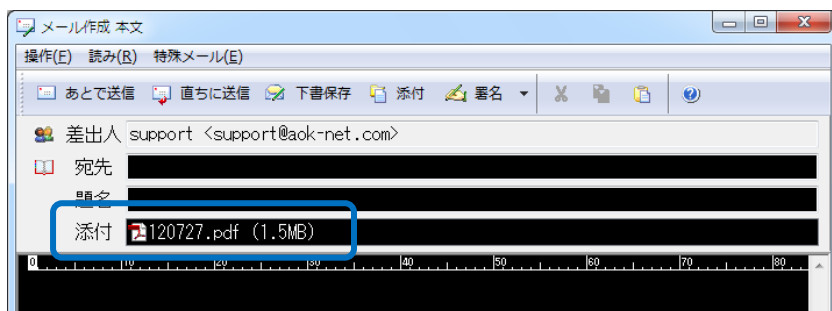
例えば、お手元の原稿をスキャナーから読み取る。文字認識により認識文書ができあがりませんが、認識漏れはないだろうか、または、誤認識はないだろうか、と心配されることがあると思います。こんな時は、お知り合いの晴眼者の方にメールで送り、確認と校正を依頼するのもいいでしょう。

ここで **PDF 形式**が有効です。添付で届いた **PDF** を開いた晴眼者の方は、画像と認識文書を比較できますので、認識漏れや誤認識を見つけることができます。これを校正し、**PDF** ファイルに保存しメールで返信までしていただければ、それをマイリードに読み込んで、お手元の原稿の内容が **100%**把握できる嬉しい結果に至ります。

**PDF 形式**の添付でメールを送るには、プルダウンメニュー [**ファイル-PDF 形式でメール送信**] を実行します。

すると、**PDF 形式**のファイルが添付された、**マイメール3**のメール作成画面が起動します。

以降は、**マイメール3**の操作でメールを送信してください。



添付ファイル名は、現在の 年 **2** 桁 月 **2** 桁 日 **2** 桁のファイル名に、拡張子 **.pdf** が付加された名前で添付されます。



# コマンド一覧表

機能	フルキー	点字キー
<b>全般</b>		
マイリードの終了	Alt + F4	321 456 め + Space
オンラインマニュアルを読む	F1	321 456 め + 無変換
プルダウンメニューの操作に移る	Alt	□□□ □□6 + 無変換
<b>読み取り</b>		
読み取りの実行	F2	
連続読み取りの実行	F3	
読み取りの中止	Escape	□□□ □□6 + Space
認識文書を自動読み上げ中の操作 次の領域読み上げへ進む	Space	
認識結果の追加・クリア切り替え	Ctrl + F2	
MYREAD5 互換認識	Ctrl + F4	
<b>拡大読書（マウス操作）</b>		
画像のスクロール	マウス移動	
画像の拡大	左ボタンのクリック	
画像の縮小	右ボタンのクリック	
拡大読書画面の終了	Shift + 左ボタンクリック	
拡大読書画面へ切替	Shift + 左ボタンクリック	

機能	フルキー	点字キー
<b>拡大読書（キー操作）</b>		
画像のスクロール	↑ ↓ ← →	
画像の高速スクロール	Shift + ↑ ↓ ← →	
画像の拡大	Page Down	
画像の縮小	Page Up	
クイック拡大	Tab ※押している間だけ拡大	
画像の右 90 度回転	Ctrl + R	□□1 □□6 か + 無変換
画像の表示色 反転	Ctrl + I	□21 □□□ い + 無変換
拡大読書操作のヘルプ	F1	
拡大読書画面の終了	Escape	
拡大読書画面へ切り替え	Shift + F6	

### マークの操作

横線を引く	F2	
横線を消す	Shift + F2	
縦線を引く	F3	
縦線を消す	Shift + F3	
線の色を変える	F4	
線の太さを変える	Shift + F4	
現在位置を記憶	F5	
記憶位置にジャンプ	F6	

### 拡大読書

読み取り画像を拡大読書画面で見る	マウス移動	
マウス操作	Shift + 左ボタンクリック	
キー操作	Shift + F6	
認識後に有効		
次の領域へ 表示位置を移動	Space	
前の領域へ 表示位置を移動	Shift + Space	
先頭領域へ 表示位置を移動	Home	□2□ □45□ と + Space
最終領域へ 表示位置を移動	End	□□1 □5□ ら + Space
領域読み	Shift	

機 能	フルキー	点字キー
<b>画像の読み込み</b>		
スキャン		
マイリードのスキャン画面を使用	Ctrl + F1	
スキャナ専用のスキャン画面を使用	Shift + F1	
画像ファイルの読み込み	Ctrl + Shift + F1	
<b>認識</b>		
認識の実行	F4	
認識オプションの設定	Shift + F4	
<b>データの保存と印刷</b>		
認識文書の保存	Ctrl + S Ctrl + Shift + F2	□21 □456 せ + Space
認識文書の印刷	Ctrl + P Ctrl + Shift + F6	3□1 □4□6 ふ + 無変換
取り込み画像の保存	Ctrl + Shift + S	321 □□6 ひ + Space
取り込み画像の印刷	Ctrl + Shift + P	3□1 □4□6 ふ + Space
PDF へ保存	Ctrl + Shift + B	321 □□6 ひ + 無変換
<b>表示</b>		
画面の拡大	F6	
画面の拡大率を上げる	Alt + Page Down	
画面の拡大率を下げ	Alt + Page Up	
<b>読み取り方法の選択メニュー・画像画面・文書画面の操作切り替え</b>		
操作画面の切り替え	Ctrl + Tab	
読み取り方法の選択メニューへ戻る	Escape	
文書画面へ操作切り替え	Tab Ctrl + T	
画像画面へ操作切り替え	Ctrl + G	

機能	フルキー	点字キー
<b>認識文書（カーソル移動）</b>		
左の文字へ	←	【FJ】 4 の点の上 U <sub>な</sub>
右の文字へ	→	□□2□ □□□ + Space 【FJ】 5 の点の上 I <sub>に</sub>
上の行へ	↑	□□2□ □□5□ + Space 【FJ】 6 の点の上 O <sub>ら</sub>
下の行へ	↓	3□□ □□6 + Space 【FJ】 6 の点の右下 . <sub>る</sub>
行頭へ	Home	□□21 □456 せ + 無変換
行末へ	End	□□□1 □□5□ ら + 無変換
前の段落へ	Ctrl + ↑	□□2□ □□5□ + 無変換
次の段落へ	Ctrl + ↓	3□□ □□6 + 無変換
文頭へ	Ctrl + Home	32□ □45□ と + Space
文末へ	Ctrl + End	□□□1 □□5□ ら + Space
次の表セルへ	Ctrl + →	
前の表セルへ	Ctrl + ←	
前の原稿へ移動	Page Up	3□□1 □□6 は + Space
次の原稿へ移動	Page Down	321 □4□□ ね + Space

#### 認識文書（カーソル文字の読み上げ表示）

カーソル位置の読み上げ		
読み方『原稿番号 行 列』	F9	□□□1 □□6 か + Space
読み方『A4 ページ番号 行 列』	Ctrl + Shift + F9	
カーソル移動時の読み方切り替え	F8	【FJ】 4 の点の左下 N <sub>み</sub>
フォネティック読みのオンオフ	Ctrl + Alt + T PC-Talker Ctrl + Alt + F9 VDM	【FJ】 5 の点の右下 , <sub>ね</sub>
点字符号読み	Ctrl + Alt + F PC-Talker Ctrl + Alt + X VDM	【FJ】 2 の点の左下 X <sub>さ</sub>
JIS コード読み	Ctrl + Alt + I PC-Talker Ctrl + Alt + N VDM	【FJ】 3 の点の左下 Z <sub>っ</sub>

機能	フルキー	点字キー
<b>認識文書（なめらか読みの読み方切り替え）</b>		
句点・括弧の読み方切り替え	Ctrl + Alt + F5 PC-Talker Ctrl + Alt + F10 VDM	【FJ】1の点の右下 B <sub>2</sub>
記号の読み方切り替え	Ctrl + Alt + ;	
数字の読み方切り替え	Ctrl + Alt + 0 PC-Talker Ctrl + Alt + F8 VDM	【FJ】1の点の右下 V <sub>ひ</sub>
英語の読み方切り替え	Ctrl + Alt + E PC-Talker Ctrl + Alt + F6 VDM	【FJ】6の点の右下 /め

### 認識文書（文書の読み上げ）

1行読み	Alt + F8	3□□ □□□ わ + Space
行頭からカーソル手前読み	Ctrl + Alt + H PC-Talker Ctrl + Alt + J VDM	32□ □56 れ <sub>下がり</sub> + 無変換
カーソルから行末読み	Ctrl + Alt + K PC-Talker Ctrl + Alt + L VDM	□2□ □□6 ら <sub>下がり</sub> + 無変換
段落読み	Alt + F9	□□1 45□ る + Space
表セル内読み	Alt + F7	3□□ □□□ わ + 無変換
文頭から全文読み	Alt + F5	□2□ 4□□ お + 無変換
カーソルから全文読み	Alt + F10	□2□ 4□□ お + Space
読み上げの中断	Escape	□□□ □□6 + Space
全文読み上げ中の操作		
段落の先頭に戻る	←	
次の段落先頭に進む	↓	
前の段落先頭に戻る	↑	
次の文節に進む	→	
次の行へ進む	Enter	
前の行へ戻る	Back Space	
原稿の先頭へ戻る	Home	
次の原稿へ進む	Page Down	
前の原稿へ進む	Page Up	
音声スピード切替	F7	
音声ボリューム切替	F11	



機能	フルキー	点字キー
<b>認識文書（日本語変換中の読み上げ）</b>		
全文を読み上げる	Ctrl + Alt + J PC-Talker Ctrl + Alt + K VDM	
反転表示内の読み上げ	Ctrl + Alt + H PC-Talker Ctrl + Alt + J VDM	32□ □56 れ <sub>下がり</sub> + 無変換
反転表示以降の読み上げ	Ctrl + Alt + K PC-Talker Ctrl + Alt + L VDM	□2□ □□6 ら <sub>下がり</sub> + 無変換
日本語変換の読み方切り替え	Ctrl + Alt + P PC-Talker Ctrl + Alt + / VDM	【FJ】3の点の上 W <sub>て</sub>

### 認識文書（その他の読み上げ）

入力状態の読み上げ	Alt + F2	321 □□□ に + 無変換
ページ設定の読み上げ	Alt + F3	321 4□6 へ + 無変換
クリップボードの内容読み上げ	Ctrl + Alt + C PC-Talker Ctrl + Alt + 8 VDM	□□1 4□6 く + 無変換

### 認識文書（文字の挿入・削除）

挿入・上書の切り替え	Insert	□21 □□□ い + Space
先読みエコーの切替	Ctrl + Shift + E	32□ □5□ え <sub>下がり</sub> + Space
改行の挿入	Enter	□□1 □□□ あ + Space
改ページの挿入	Ctrl + Shift + Enter	3□□ □5□ を + Space
カーソル上の文字削除	Delete	□□□ □5□ + Space
カーソル手前の文字削除	Back Space	□□□ 4□□ + Space

### 認識文書（範囲選択）

範囲選択の開始	Alt + Enter	
範囲選択中の操作		
選択単位の切替	Space	
選択の中止	Escape	
すべて選択	Ctrl + A	
選択範囲の解除	Escape	

機 能	フルキー	点字キー
<b>認識文書（編集）</b>		
元に戻す	Ctrl + Z Alt + Back Space	【FJ】6の点の右上 P <sub>せ</sub>
やり直し	Ctrl + Y	□2□1 □5□ り + 無変換
切り取り	Ctrl + X Shift + Delete	3□□1 4□□ む + Space
コピー	Ctrl + C Ctrl + Insert	32□□ 4□6 ほ + 無変換
貼り付け	Ctrl + V Shift + Insert	3□□1 45□ つ + 無変換
検索	Ctrl + F	32□□ 466 も + Space
次を検索	Alt + ↓	□□□ 4□6 + Space
前を検索	Alt + ↑	□□□ 45□ + Space
置換	Ctrl + H	32□1 □5□ ち + Space

#### 画面の操作（表示）

画像の拡大率を上げる	Ctrl + <input type="button" value="+"/>	
画像の拡大率を下げる	Ctrl + <input type="button" value="-"/>	
画像の表示色 反転	Ctrl + I	□2□1 □□□ い + 無変換

#### 画像の操作

元の画像に戻す	Ctrl + Shift + Z	32□□ 466 も + 無変換
取込画像の右 90 度回転	Ctrl + R	□□□1 □□6 か + 無変換
取込画像を明るくする	Ctrl + U	
取込画像を暗くする	Ctrl + D	
取込画像のコピー	Ctrl + C	32□□ 4□6 ほ + 無変換
次の原稿の画像を表示	Page Down	
前の原稿の画像を表示	Page Up	
次の領域へ 表示位置を移動	Space	
前の領域へ 表示位置を移動	Shift + Space	
先頭領域へ 表示位置を移動	Home	
最終領域へ 表示位置を移動	End	
領域の削除	Delete	□□□ □5□ + Space

機 能	フルキー	点字キー
その他		
日時読み上げ	Ctrl + Shift + W	32□ 45□ と + 無変換
情報読み	Ctrl + Alt + G	

## 拡大読書・読み取りシステム

# MyRead7

MyRead7の開発にあたっては、たくさんの方にご意見とご協力いただきました。  
ここに厚くお礼を申し上げます。

- ・ 六点漢字は長谷川貞夫先生が考案された方式です。
- ・ Windows はマイクロソフト社の、商標または登録商標です。
- ・ PC-Talker 10、PC-Talker 8、PC-Talker 7 は、株式会社高知システム開発の商標です。
- ・ MYWORD、MYREAD、MyMail3 は（株）高知システム開発の著作物であり、これらにかかる著作権などの権利は（株）高知システム開発に帰属します。
- ・ Windows 10、Windows 8、Windows7、Excel、Word は、米国マイクロソフトの Adobe、PDF は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）のそれぞれ商標または登録商標です。
- ・ マニュアルは、内容を変えないことを条件に転載可能です。
- ・ マニュアルの内容は将来予告なしに変更することがあります
- ・ その他製品名及び商品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。
- ・ キーボードの種類によっては点字入力ができない場合があります。

## 拡大読書器 MyRead7

---

発行所 株式会社 高知システム開発

〒780-0048

高知県高知市吉田町2番23号

TEL (088)873-6500 FAX (088)873-6599

2015年10月15日 第1版 第2刷発行

URL <http://www.aok-net.com>

E-mail [support@aok-net.com](mailto:support@aok-net.com)

---